

学校名	福島市立福島第三中学校	校長名	小山 金也		
住 所	福島県福島市古川 44 番地の 2	児童生徒数	5 3 9	学級数	2 0
T E L	024-534-3171	ホームページアドレス			

**基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させるために**  
～数学科における習熟度別学習の実践を通して～

### 1 2 学年数学科における少人数指導（習熟度別学習と T・T 指導）の方針・計画

(1) 数学科教師全員で組織的に習熟度別学習を実践するための時間割の編成

- ① 2 学級を 2 つのコースに分けて指導できるように、2 学級同時進行の時間割を組む。
- ② 習熟度別学習の指導に他学年担当の数学科教師が T・T 指導に入れるように時間割を組む。
- ③ 校長、教頭、数学科教師全員で、本実践について話し合う「委員会」を時間割に組む。

(2) 計画的・意図的に習熟度別学習を実践するための「委員会」での検討内容

- ① 単元ごとに 1 回程度の実践を行うための単元構想と教材分析について
- ② 2 つのコースを生徒に選択させる方法やその基準指標について
- ③ 各コースの学習内容や問題の種類・配列・数値の吟味について
- ④ 定着確認シートや定期考査の正答率などによる考察とその後の指導の改善について。

### 2 実践の概要

上記の方針・計画にそって、1 2 月までに 5 回の習熟度別学習を実践した。各コースともに自作の学習プリントを作成し、問題演習を行った。

	KAMI コース(基本)	KOBA コース(発展)
学習プリントの問題設定の視点	○教科書の例題程度 ・生徒のミスが多い問題 ・確実に定着させたい問題	○表は教科書の程度、裏は高校入試程度 ・生徒のミスが多い問題 ・発展的な問題（高校数学 I も含む）
問題解決の流れ	○個人解決 ・提示された例題を参考にする ・教師の助言を取り入れる ・友達と確認しながら進める	○個人解決 ・どんどん解き進める ・生徒間で教え合う ・教師に質問する
解答の確認	○教師による丸付け法 ・机間巡視によって一人一人のつまずきに合わせて支援する	○自己採点 ・模範解答は黒板に提示する ・解決の視点や自分の理解不足の点に目を向けていく
生徒の感想	☆自分のペースでじっくり進められたので、よかった。 ☆友達も教えてくれるけど、先生が多いので困っているとすぐ気づいて教えに来てくれるので嬉しい。	☆見たことのないような問題を知ることができて良かった。 ☆友達と苦戦しながらも楽しくできた。 ☆模範解答を見たり先生に教えてもらったりしてできた。自分のペースでできる。

### 3 実践の成果と課題

- 習熟度別学習で指導した学習内容は、定着確認シートなどで高い正答率を示し、確実に定着させることができた。
- 学習内容の確実な定着が、学習意欲の向上や学力に対する自己評価の向上にもつながった。
- 個々のペースで学習を進めたり、友達とじっくり考えたり、複数の教師によって細やかに支援を受けたりできるので、習熟度別学習の授業を楽しみにしている生徒が多い。
- 人的環境や時間的環境の厳しい状況の中で、研究や実践に対する組織的な協力体制が必要不可欠である

